

入間川中だより

～お互いを尊重し、認め合い、学びを実感できる学校～

令和8年4月8日

第1号

校長 長尾 光仁

TEL04-2953-3683

～ご入学、ご進級おめでとうございます～

本日 66名の新生を迎え、オーロラ学級を含む 8学級、総勢 214名の生徒と私たち 36名の教職員が、新たな出会いのもと、令和8年度のスタートを切ることができました。

今年度も「お互いを尊重し、認め合い、学びを実感できる学校」を目指す学校像に掲げ、「**美点凝視**(相手の長所や徳性を意識的に注視すること)」を意識して、入間川中で過ごす全員がお互いの良いところを認め合い、毎日の学び、生活から「学校が楽しい」と日々実感できるように教職員一同、力を尽くしてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



令和8年度 学校経営方針

<学校教育目標> 「たくましく心豊かで未来に向けて夢の実現に努力する生徒」

<目指す学校像> 「お互いを尊重し、認め合い、学びを実感できる学校」

学校は、たくさんの方が一緒に活動する場所です。一人ひとりの個性は、どれも違うと同時に、すべて大切なものです。「美点凝視」を意識することで、生徒一人ひとりがそれぞれの違いを理解し、認め合い、尊重し合いながら、安心して学ぶことのできる学校が作られていきます。さらに自分以外の人(他人)の良いところを認識し、自分の短所や欠点に気づくと同時に、それを補おうとすることで成長につながっていきます。みなさんの成長がよりよい入間川中学校へとつながっていきます。

<目指す生徒像> (1) 自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒

(2) 明るく、思いやりのある生徒

(3) 心身ともにたくましい生徒

「あたりまえ」の高い意識を持ち、自分とみんなのために努力できる生徒

変化の激しいこの時代を乗り越えるためには、「多様性の尊重」や「情報選択の力」など様々なことが求められています。そのためには、基礎の力が必要になります。基礎基本の力を身につけ、自分のため、みんなのために努力できる生徒になれるよう、よりよい学校とはどんな学校なのか、生徒全員で考え、入間川中学校を磨き上げていきましょう。



校長の長尾光仁(みつひと)と申します。昨年度に引き続きお世話になります。これから1年間全教職員が一丸となって「たくましく心豊かで未来に向けて夢の実現に努力する生徒」の育成を目指し、『美点凝視』の視点をもって教育活動に取り組んでまいります。至らぬ点もあろうかと思いますが、全力で取り組む所存ですので、引き続き本校の教育活動に対してご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。